

金剛流、親世流の一流の出演者による謡曲の魅力の徹底解剖

謡曲は おもしろい

庶民に愛されてきた 謡曲(うたい)の魅力

謡は、能の伴奏音楽として鑑賞されるだけでなく、茶謡ともよばれ庶民にとってかけがえのない楽しみであり、また社文上欠かせない教養でもありました。

江戸時代には独自の「謡文化」とよばれる世界が育っていました。商家の丁稚さんが寺子屋で習う「読み、書き」のお手本は謡本でした。ですから京の町屋に「鼠のフンと謡本は必ずある」といわれた程身近なものであったのです。

六百年の歴史を持つ能には五流あり、それぞれの特色があります。

今回は、謡曲そのものの魅力を探ると同時に、金剛流、親世流のご出演を得て、流儀によっての違いを金剛流のお家元をはじめ、各流の第一級の能楽師の方々とともに探ってまいりたいと思っています。

謡曲の深さと音楽性等とその楽しさを初心者の方にも分かりやすく構成してまいりますので、若い方、初めての方もぜひご来場いただき、時代を風靡した謡曲の面白さ、魅力を、ひいては能の面白さに触れていただければと願っています。

開催日時

平成19年5月10日(木)

午後6時30分開演

会場

府民ホールアルティ

京都市営地下鉄烏丸線今出川駅下車徒歩5分
☎ 075-441-1414



出演

金剛流 金剛永謹
(助吟) 豊島晃嗣 宇高竜成
親世流 井上裕久
(助吟) 吉浪寿晃 浦部幸裕
解説・進行 権藤芳一 (演劇評論家)

お申込方法

入場整理券(無料)が必要です。
4月11日から入場整理券を府民ホールアルティでお渡ししますが遠方の方、ご都合のつかない方は、はがき又はFAXで京都和文華の会までお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。

主催 京都和文華の会

〒611-0033
宇治市大久保町上ノ山 51-35
TEL/FAX 0774-43-7577

共催 真如苑

立命館大学アートリサーチセンター
社団法人 京都デザイン協会
NPO法人 京都文化企画室
NPO法人 繪の会